



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：次期大統領選に関する世論調査

(11月24日付現地各紙)

1. 第15回国際メディア・フェア（期間中）の11月20日から21日において、IRNA通信のニュース分析・研究部により次期大統領に関する世論調査が行われ、その結果参加者全体の55.69%が次期大統領選においてアフマディネジャード大統領に投票すると回答した。
2. 同世論調査には、25歳から55歳までの300名の男女（男性171名（57%）、女性129名（43%））が参加。そのうちの9%は高卒、16%は短大・専門学校卒、64%は大卒、11%は修士課程修了であった。
3. また、回答者のうち、9名（3%）は、報道機関幹部、33名（11%）はジャーナリズム専門家、147名（49%）は記者、48名（16%）は報道機関事務所職員、36名（12%）は会場関係者、そして27名（9%）はグラフィック技術者やフォト・ジャーナリストであった。
4. 同世論調査によると、ハタミ前大統領は、20.25%、キヤルビ元国会議長は13.93%、ラリジャニ国会議長は4.24%、ガリバーフ・テヘラン市長は3.78%であった。
5. メディア関係者の間でアフマディネジャード大統領の人気の56%であるということは、一般のイランの人々の間では70%の人気があることを意味している（ママ）。回答者の79%は、確実に次期大統領選に投票すると述べた。